

教育目標：あかるく・やさしく・たくましい子どもを育成する

努力目標：自分らしさを発揮し、仲間とともに育ち合う子どもを育む

～体を動かす遊びを通して～

- ・よく考えて最後までやり抜く子ども
- ・友達も自分のことも好きになれる子ども
- ・友達と思いを伝え合える子ども

【めざす幼児像：3歳児】

- ・挨拶を心地よいと感じる子ども
- ・自分のことを自分でしようとする子ども
- ・遊びや生活のルールを守ろうとする子ども
- ・友達や先生と一緒に過ごすことが楽しいと感じる子ども
- ・見たことや感じたこと、自分の気持ちを喜んで伝える子ども
- ・体を動かして遊ぶことを楽しむ子ども

【めざす幼児像：4歳児】

- ・挨拶がきちんとできる子ども
- ・自分のことを自分でする子ども
- ・よいこと悪いことの判断ができる子ども
- ・思いやりの心がもてる子ども
- ・友達と仲良く遊べる子ども
- ・何事にも積極的に挑戦できる子ども
- ・自分の思いを言葉で表現し、相手の話も興味をもって聞ける子ども
- ・体を動かして遊ぶことが好きな子ども

【めざす幼児像：5歳児】

- ・自ら必要な挨拶ができる子ども
- ・自分で考えて行動できる子ども
- ・自分も友達も大切にできる子ども
- ・自分に自信がもてる子ども
- ・自分なりに目標をもち、目標に向かって努力し続ける子ども
- ・自分の気持ちを伝え、友達の意見も受け入れながら遊べる子ども
- ・体を動かして遊ぶ楽しさを感じる子ども

【めざす教職員像】

- ・幼児や保護者の思いに寄り添える教職員
- ・人権感覚をもち、幼児一人一人の個性や特性を大切にできる教職員
- ・幼児の主体性を尊重し、好奇心や探求心を高める教職員
- ・意欲をもって取り組み、自ら学び続ける教職員
- ・チームとして協働し、支え合う教職員

【めざす幼稚園像】

- ・安心、安全で居心地の良い幼稚園
- ・明るく、楽しく、笑顔があふれる幼稚園
- ・今日が楽しく、明日が待ち遠しい幼稚園
- ・家庭や地域とともにある幼稚園
- ・保幼小中の連携が充実した幼稚園

幼稚園で育みたい力

★集団生活を学び、社会生活を始める場であることをふまえ、幼児理解に基づいた適切な環境を整える★

【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

知識・技能の基礎	思考力・判断力・表現力の基礎	学びに向かう力・人間性
感じたり、気づいたり、分ったりできるようになったりする	考えたり、試したり、工夫したり表現したりする	興味・関心をもち、意欲的に取り組み続けたり、自分の気持ちをコントロールして他者と協力したりする

【こころ】～心で感じる～

- ・自然との関わり
- ・友達や先生との関わり
- ・感動体験・実体験
- ・共感 等

【まなび】～頭で考える～

- ・不思議・発見・気づき
- ・創意工夫・試行錯誤
- ・発想・想像・創造
- ・実感 等

【からだ】～体で感じる～

- ・体を思い切り動かす
- ・繰り返し挑戦する
- ・成功体験・失敗体験
- ・五感 等

【育ちの基本となるこころ】

- ♥自己肯定感…どんな自分でも愛してもらえる
- ♥自己有能感…自分にはやれることがある
- ♥他者への信頼感…自分のことを応援してくれる人がいる

〔生活〕

- ・生活リズム・衣服の着脱・排泄の自立・食事・道具を使う
- ・気持ちのコントロール

〔ことば〕

- ・語彙（名詞、動詞）・聞く力
- ・文章力（要求や気持ちを伝える、考えたことや気づいたことを伝える）

〔関わり〕

- ・人との関わり（生活のルール、気持ち（自分・他者）の理解）
- ・社会との関わり

【学びに向かう力：遊びからの学び】

わくわくする・おもしろそう（心が動く）

やってみよう（体が動く）

不思議・発見・驚き・気づき（頭が動く）

もっとやりたい（繰り返す）

夢中になる（没頭する）

意欲の高まり（自信）

【茨木っ子プランネクスト5.0】

— 茨木っ子力 —

◇ゆめ力

- ・自分で考えて行動する
- ・最後まで粘り強く取り組む

◇学び力

- ・色々な事に興味関心がもつ
- ・様々な表現を楽しむ

◇自分力

- ・自信をもって取り組む
- ・自ら進んで体を動かすことを楽しむ

◇つながり力

- ・自分から挨拶をする
- ・自分も友達も大切にできる
- ・自分の思いを言葉で伝える

◇元気力

- ・友達と一緒に夢中になって遊ぶ
- ・好きなことを存分に楽しむ